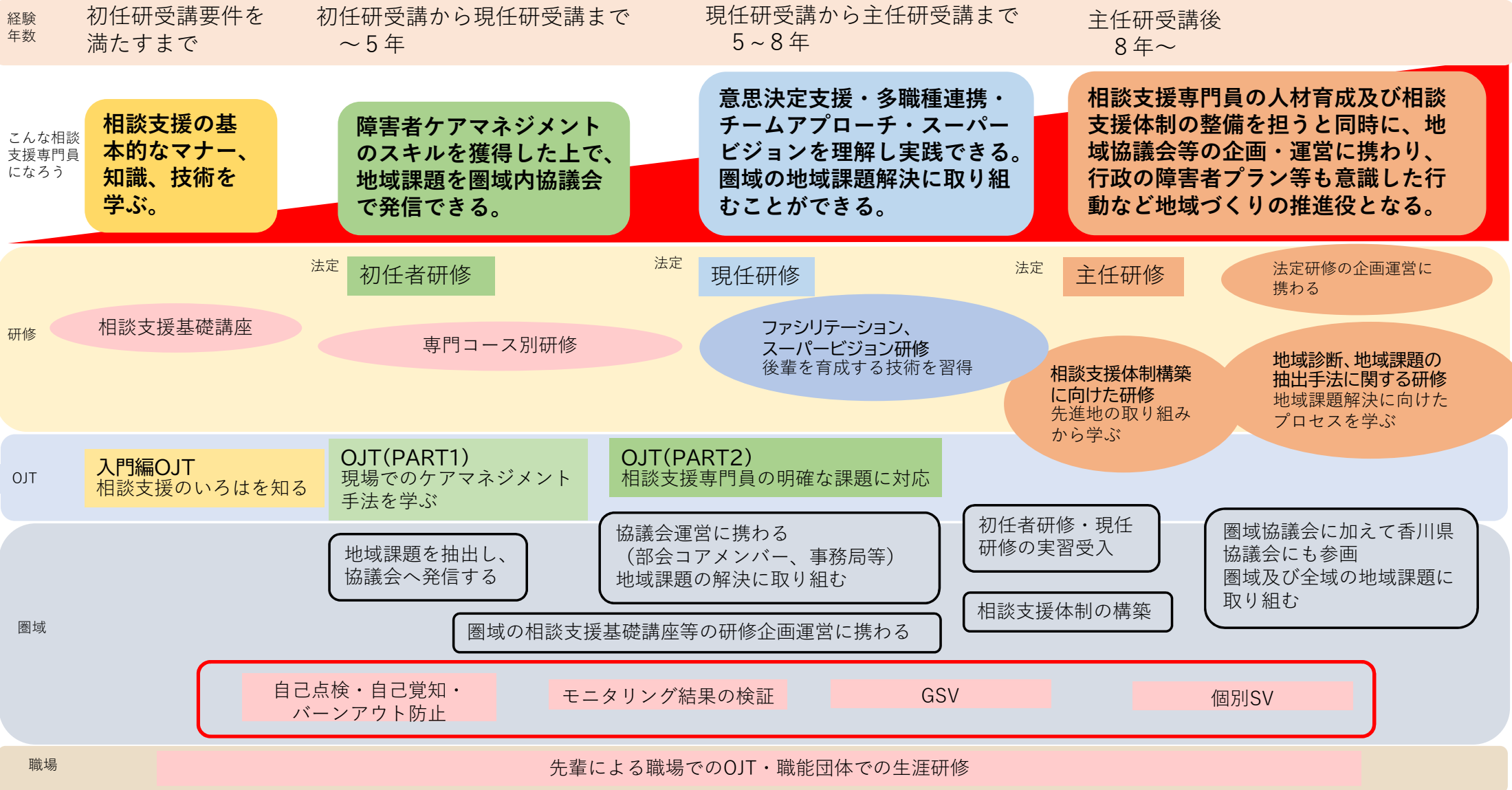


香川県相談支援専門員 人材育成ビジョン

香川県自立支援協議会 人材育成部会 令和6年2月作成



人材育成ビジョンが目指す相談支援専門員

相談支援従事者初任者研修【初任研】を受けるまで

初任研受講要件を満たすまでに福祉、医療等の現場において、概ね 5 年間、相談支援業務に従事しながらケアマネジメントの援助方法に基づく、本人主体、エンパワメント、意思決定支援、ストレングスへの着目等基礎となる理論を学び、ビジネスマナーを含む相談援助技術を身に付けておく必要があります。その上で、香川県が主催する「相談支援基礎講座」を受講することで初任研を受講するための準備を整えることができます。さらに、香川県相談支援専門員協会(USK)が提供する「入門編 OJT」を受けることで、相談支援従事者の業務を現場で体感した上で、初任研を受講することができます。

初任研から相談支援従事者現任研修【現任研】を受講するまで

初任研受講後 5 年を目途に利用者のニーズに沿った計画相談ができるようになり、個別ケースからあがった課題等を集積し、地域の課題として圏域内協議会で発信することができるようになることを目標とします。そのためには、自己研鑽を積むと同時に、職場で先輩相談支援専門員から OJT を受け、さらに、圏域内協議会で実施するケアマネジメントの一連の流れを検証するモニタリング結果の検証、グループスーパービジョン(GSV)、個別のスーパービジョン(個別 SV)に積極的に参加します。また、地域の先輩相談支援専門員から相談場面でアドバイスを受けることができる OJT 等を受けることで、自己の業務を点検すると同時に自己覚知することが求められます。多くの相談支援専門員からアドバイスや刺激を受け、視野を広げ、横のつながりを作り、利用者のニーズをかなえるための支援を行うと同時に地域の課題を発信していきたいものです。

現任研から主任相談支援専門員養成研修【主任研】を受講するまで

初任研受講後 5 年から 8 年を目途に圏域の課題を把握する力を身に付け、職場、圏域内協議会、初任研等で相談支援専門員の育成ができるようになることを目標にします。そのためには、GSV、個別 SV 等でのファシリテーションやスーパービジョンの技術を身に付け、圏域内協議会において、部会長、サブリーダー等の重要な役割を担うことが望ましいです。部会運営を通し、圏域の課題解決に取り組むと同時に、相談支援専門員等の人材育成にも目を向けていくことが求められます。10 年目相当の中堅相談支援専門員が、このような役割を担うことで圏域の底力は確実に上がります。

主任研受講後

初任研修了後 8 年を目途に圏域の中核的役割を果たす牽引的な人材になることを目標とします。そのためには、主任研や USK が企画する地域課題の解決に向けたプロセスを学ぶ研修を受講したうえで、活動の場を圏域内に止めるのではなく、香川県自立支援協議会や国の研修等にも積極的に参画し、圏域外、県外での課題解決の成功事例等を知り、その過程で得た見地を圏域内協議会で生かしていくことが求められます。

また、圏域内のみならず、香川県における相談支援従事者の人材育成に係る取り組みを牽引することも求められています。具体的には、初任研、現任研、主任研の企画・運営や人材育成ビジョンに基づいた運用が各圏域でなされているかを検証する役割等があげられます。